

1 教科の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解する。これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。
(知識及び技能に関する目標)
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して、表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(思考力・判断力・表現力等に関する目標)
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等に関する目標)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	Get Ready アルファベット 辞書の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだことをもとに、自分の好きなものやできることなどについて、話したり書いたりすることができる。 ・アルファベットの形、つづり字と発音の関係などの理解をもとに、単語を書いたり読んだりすることができる。 ・辞書の引き方についての知識をもとに、引きたい単語を調べる技能を身につける。
	Program1 友だちを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞（肯定・否定）などの意味や働きをもとに、相手の情報を聞き取り、また自己紹介する技能を身につける。 ・登場人物になったつもりで質問に答えるために、自己紹介についての会話文を読んで、概要や要点をとらえることができる。
	Program2 1-Bの生徒たち	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞（肯定・否定）や複数形などの意味や働きを理解し、相手の好きなことや普段することについて、聞き取り書いたりすることができる。 ・登場人物になったつもりで質問したり答えたりするために、趣味についての会話文を読んで、概要や要点をとらえることができる。
	Program3 タレントショーを開こう	<ul style="list-style-type: none"> ・can（肯定・否定）などの意味や働きを理解し、登場人物や身の回りの人の「できること」「できないこと」について、聞き取り書いたりすることができる。 ・動物ができることや「夢のロボット」について他の人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を相手に示しながら、概要を話し書くことができる。
二学期	Program4 Let's Enjoy Japanese Culture.	<ul style="list-style-type: none"> ・This [That / It] is～.（肯定・否定・疑問）などの意味や働きを理解し、友だちや身の回りのものについて聞き取り、話す技能を身につける。 ・質問したり答えるために、日本文化についての会話文を読んで、概要や要点をとらえることができる。
	Program5 The Junior Safety Patrol	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称・単数・現在（肯定・否定）などの意味や働きを理解し、自分と相手以外の人について聞き取り、書く技能を身につける。 ・国による文化の違いについて知るために、子ども安全パトロールについての会話文を読んで、必要な情報をとらえることができる。
	Program6 The Way to School	<ul style="list-style-type: none"> ・him, her などの意味や働きを理科史、登場人物や好きなキャラクターの家族などについて聞き取り、書く技能を身につける。 ・海外の通学事情について知るために、映画についての会話文を読み、概要や要点をとらえることができる。
	Program7 Research on Australia	<ul style="list-style-type: none"> ・There is [are]～. などの意味や働きを理解し、登場人物や自分の地域にあるものについて聞き取り、書く技能を身につける。 ・オーストラリアの様子について知るために、オーストラリアについての会話文を読み、概要や要点をとらえることができる。
三学期	Program8 The Year-End Events	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形（肯定・否定）などの意味や働きを理解し、登場人物や友だちが今していることについて聞き取り、書く技能を身につける。 ・登場人物の年末年始の過ごし方を理解するために、日本文化についての会話文を読み、概要や要点をとらえることができる。
	Program9 Trip to Finland	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形（規則変化）などの意味や働きを理解し、週末したことについて、聞き取り書く技能を身につける。 ・フィンランドの様子について伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を相手に示しながら概要を話すことができる。
	Program10 Grandma Baba's Warming Ideas!	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞の過去形や、過去進行形などの意味や働きを理解し、昨日の様子などについて、聞き取り書く技能を身につける。 ・「ばばあちゃん」の物語を読み、内容を伝えるために簡単な語句や文を用いて、絵を示しながら話すことができる。

3 評価の観点・資料、方法

*英語の学習は毎時間の積み重ねです。単元を通し、学んだことに対して3観点を評価します。

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	授業での取り組み、単元テスト、実力テスト リーディングテスト、スピーキングテスト、プレゼンテーションなど
思考・判断・表現	授業での取り組み、単元テスト、実力テスト、パフォーマンステスト リーディングテスト、スピーキングテスト、プレゼンテーションなど
主体的に学習に取り組む態度	授業での取り組み、パフォーマンステストへの取り組み スピーキングテスト、ワークシートなど